

立高探究通信 (仮)

第7号
令和2年9月23日

岡本先生講演会

9月19日(土)の3・4時間目に岡本尚也氏による講演会がありました。例年、5月に実施しているもので、73期・74期のみなさんもお話を伺いましたね。

今年はこの時期の開催となってしまいましたが、熱気は十分。岡本先生もエンジン全開で、熱い講演をしてくださいました。終了後には質問の生徒の列が。50分ほどかけて、丁寧に答えてくださいました。以下、1年生の感想です。

・少し難しかったです。ただ、難しいだけに真剣に自分の言葉で考えながら話を理解することが出来ました。本当に面白い公演でした。立高に入って良かったと思えるほどです！先生の外国人との関わりを聞いて今まで全く興味のなかった留学というものにも興味持てました。もっと自ら参加できたら良かったと思います。自分の意見があってもそれを言えなかったのが悔しかったです。海外に行ったらそういう所も成長できるのではないかと思います。もっと自分も含めて能動的に活動できるようにしたい。それが外国でも大切にされると思いました。

・自分の可能性はまだまだあるんだなと感じられる講演会だった。その可能性を広げるためには、自分の興味をもっと広げることが必要だと分かったので、これからは積極的に新聞を読もうと思った。また、無意識に行なっていることや、言葉になっていない現象を概念化することで、人と共有して、議論できるんだなとわかった。日々の慌ただしい中で、当たり前に行っていることが大切なことかもしれないと思った。そうやって、見逃してしまわないように、常に脳を働かせて考えていたい。課題研究については、すべてを決められる自由があるから、逆に

難しいんだと思ったけど、自分の興味のあることをまず研究していきたい。また、なぜ？と自分に問い続けることで、客観性が高まることを知った。なぜ？と問うことは勉強においても、日常生活においても、考えるきっかけになると思った。

・「頭の中はいつだって自由」という言葉、聞いてから即メモしました。素敵な言葉です。忘れません！

・とても充実した内容を分かりやすく話してくださったので、多くのことを学ぶことができました。課題研究の重要性と意義を理解し、これからの進路に活かしていこうと思いました。

都立大学 オンライン高校生向け特別講座「大学で何を学ぶか？」

東京都立大学から、高校生向けの特別講座のお知らせが来ました。オンラインで大学の先生のお話を聞ける講座です。

探究をしていく上でのヒント、あるいは、これからの進路を考えるヒントになるかもしれません。興味のある人は、4階講義準備室まで来てください！

東京都立大学オープンユニバーシティ 自宅学習講座
オンライン 高校生向け特別講座 大学で何を学ぶか？

※ 当講座は、パソコンやタブレット、スマートフォンを通じてのオンライン講座となります。上記機器等を所有の方のみ受講できます。Zoom アプリ (無料) を使用しますが、事前に接続テストをします。

講座名 **大学で何を学ぶか？** 進学を目指す高校生の皆さんへ 受講料: 無料 (1回)
 定員: 24名
 出席者 東京都立大学 システムデザイン学部 菊竹 隆 教授、理学部 水口 佳一 准教授 対象者: 高校生限定
 東京都立大学 大学教育センター 長 高木 博典 氏 河西 奈保子 教授 場 所: 自宅・高校など

12月19日(土) 14:00~16:30 パソコンでの参加をお勧めします **オンライン講座にチャレンジしよう!**

自分は大学で何を学びたいのか、どのような観点で進路を選ばよいか、大学での学びにふれながら、自分の興味を深めることで、学問を人生にどう生かすか、その先の将来にどう繋げていくかヒントをお伝えします。

～この講座でお伝えしたいこと～

- 様々な情報に溢れている世の中で大事なことは、何が本質であるかを自分で考える力と行動する力である
- 大学は、高校までのように授業に陣っければ教えてもらえる場所ではなく、自ら自分の考える力を伸ばす場所である
- 一つのきっかけとして、人間とは何か、人生とは何であるかという問いについて一緒に考えたい
- 今、日本の未来の創造には柔軟な発想力が必要とされている。そのためには基礎力の養成と共に、文理系を問わず、広範な知識や教養を身につけることが大切である
- 日本はかつて経験したことのない様々な困難に直面している。この困難な状況を打開しすべての人間が尊厳をもって生きる社会を創りあげるには、正義感と倫理観に裏付けられた、力強くしてしなやかな若い知性をおいてはならない

水口 佳一 東京都立大学准教授 理学部

菊竹 隆 東京都立大学教授 システムデザイン学部

世にない新しい超伝導物質のデザイン
 超伝導を利用したシステムは世の中に大いに需要がありますが、超伝導システムの可能性をさらに広げるためには、新しい超伝導物質の発明(新物質デザイン)が必要です。そのような研究を進めるには、専門的知見やスキルが必要ですが、要は発想力がないと、なかなか難しいです。他人とは一歩違った発想力を身に付けるためには、広範囲に渡る「基礎力」・好奇心などを養う必要があります。高校での授業も非常に大切です。超伝導物質をデザインする研究を創出に紹介、発想力の重要性を共有し、今後の皆さんの可能性についても一緒に考えていきたいと思います。

ヒトとマシをつなぐデザイン
 インタラクティブアート学科では、様々な領域のデザイン教育・研究が行われています。デザインとは、奥底や表現など思いつきません。好奇心をもって日常を眺めてみる、そこに新しい気づきが生まれるはず。その気づきを源流に、アイデアを積み重ねていくプロセスの中で、少しずつ進化しながらデザインとして結果していくことを学びます。私は、ヒトとマシをつなぐデザイン「スーパーグラフィック」を専門としています。読めないないかもしませんが、パスのラッピングや工事現場の悪い使ったグラフィックなど、皆さん目に見えていることでも、都市のスケールで展開する事例を紹介、デザイン思考について一緒に考えてみましょう。

探究委員レポート

皆さんこんにちは。夏の残暑が厳しい日もあるなか、だんだんと涼しく秋を感じられる気候になってきましたね。

■夏休み中の活動について

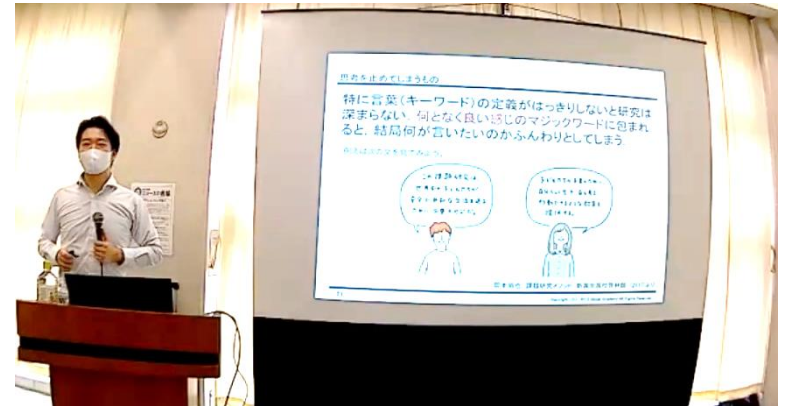
夏休みは各自思うように探究活動が進められたでしょうか。研究計画書の提出もあり、これから本格的に始動する活動のためテーマや先行研究を探す、もしくは短い期間でもこの休みを利用して調査や実験、観察を進めることができた人もいます。夏休み手が止まっていた人も、目指す研究成果へ向け計画を立てて取り戻していきましょう。



■SSH 課題研究講演会

9月19日の岡本尚也先生による講演会では課題研究の意義やテーマ設定などについて図や自身の体験談を用いてわかりやすく解説してくださいました。

私は課題研究が唯一自分で選択できる時間であるという話を聞いて、確かにそうだと思い、これからの探究活動をもっと頑張ろうという気持ちになりました。



■今後の予定

一年生は、11月21日に研究の中間発表があります。それに向けて、二年生の発表から学んだことやアドバイスなどを活かして頑張りましょう。

担当：1E 探究委員